

報道関係各位

～公演の一般発売と同時に、6/9（土）より受付開始！～

## 舞台『海辺の鉄道の話』 観劇&鉄道沿線を巡る観光ツアー

ACM 劇場は9月に舞台『海辺の鉄道の話』を上演いたします。本作は、水戸市に隣接する実在の鉄道「ひたちなか海浜鉄道湊線」をモデルに、廃線の危機を乗り越えて再生を遂げようとしている小さな鉄道に関わる人々を描く、最新作です。

このたび、JTB 水戸支店のご協力のもと、公演の鑑賞とモデルとなった鉄道沿線を巡るツアーの開催が決定しましたのでお知らせいたします。

何卒、貴媒体にてご紹介くださいますようお願い申し上げます。

## 舞台『海辺の鉄道の話』 観劇&鉄道沿線を巡る観光ツアー

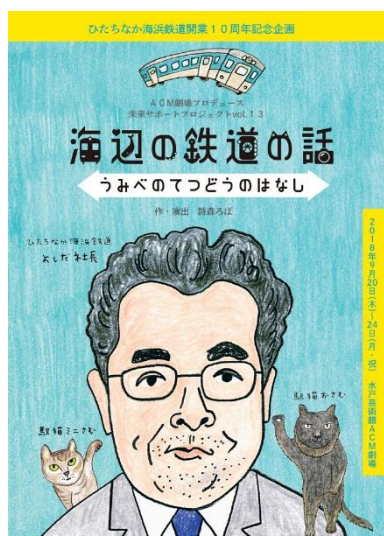
【日程】1泊2日3食付き

6月9日受付開始

9月22日（土）観劇（14時開演）⇒借楽園レストハウスで夕食（出演者によるトークショーあり）

9月23日（日）ガイド付き湊線ツアー⇒国営ひたち海浜公園でコキア鑑賞⇒那珂湊おさかな市場で昼食

ツアー特典：公演限定デザインの湊線1日乗車券、特別増結列車への乗車、地元応援団によるお出迎え、水戸芸術館シンボルタワー展望室入場無料など



ツアーに関するお問合せ：株式会社 JTB 水戸支店 TEL:029-225-5233（担当：西島）

【掲載に関するお問合せ】 水戸芸術館 広報係 川崎 Tel.029-227-8111 (代表)

【企画に関するお問合せ】 同 演劇部門学芸員 本間 Tel.029-227-8123 (演劇部門)

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 (公財) 水戸市芸術振興財団

ACM 劇場プロデュース公演／未来サポートプロジェクト <公演概要>  
『海辺の鉄道の話』

【作・演出】 詩森ろば (風琴工房 改め serial number [シリアルナンバー])

【出演】 松村武 (カムカムミニキーナ)

杉木隆幸、酒巻誉洋、佐野功、田島亮、高畑こと美、八幡みゆき、白井風菜、  
椎名一浩、橋本昭博、篠原 立、杉山文乃  
劇団 ACM (塩谷亮、大内真智、小林祐介)

【公演日】 2018年9月20日(木)～24(月・祝)

【会場】 水戸芸術館 ACM 劇場

【料金】 全席指定 S席 4,500円/A席 4,000円/A席学生 2,000円 (大学生以下、要学生証)

【チケット取扱い】

水戸芸術館チケット予約センター TEL:029-225-3555 (9:30～18:00 月曜休館)

窓口…水戸芸術館エントランスホール内チケットカウンター (9:30～18:00 月曜休館)

★チケット発売開始：6月9日(土)

『海辺の鉄道の話』 限定デザインの湊線乗車券つきチケットも  
同時発売！

『海辺の鉄道の話』公演チケット+1,000円で、公演限定デザインの湊線1日乗車券とサザコー  
ヒー水戸芸術館店のドリンクチケットをセットで発売します！

公演チケットのご予約と同時に申し込みください。

※引換券をお渡しし、公演当日に限定乗車券の引換を行います。

<ひたちなか海浜鉄道湊線とは>

ひたちなか海浜鉄道湊線(旧茨城交通湊線)は2007年に廃止の危機に直面しましたが、地域住民の存続を望む声に応えた自治体が出資を決め、2008年から第三セクターとして運営されています。その後は、公募で選ばれた吉田千秋社長を中心に行われている地道な経営努力と、存続活動の為に組織された応援団によるボランティア活動によって地域密着の経営スタイルに変貌を遂げ、観光路線としても認知を広げながら乗客数を増やしています。2000年以降、同じ茨城県内でも複数の鉄道が廃線となった一方、着実な成果を挙げているこの鉄道では現在、国営ひたち海浜公園までの延伸が検討されています。この計画が実現すれば「第三セクター鉄道の延伸」として全国初の事例となります。本作では、全長14.3キロメートルの小さな鉄道を愛し、鉄道と共に生きる人々の10年間を描きます。

関係者の皆さまのご協力の下、昨年春より継続して舞台化に向けた取材を行っています。